

中国人高校生たちの “日本の家族”になりませんか？



心连心
Heart to Heart



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金



ホストファミリー 募集

独立行政法人国際交流基金では、中国人高校生の“日本の家族”になってくださる家庭を全国で募集しています。期間は1ヶ月～11ヶ月間（ご希望により受入期間は調整可）、そのほか休暇期間中や週末のショートステイも随時募集しています。

自宅で国際交流、気軽に始めてみませんか？



日本留学中の中国人高校生たちの
エッセイや動画をウェブで公開中！



詳しくは
WEBをご覧ください！

心连心

検索



ご関心をお持ちの方は、お気軽に下記までご連絡ください。

独立行政法人国際交流基金 国際対話部 高校生招へい係
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーゼ
TEL:03-5369-6074 E-mail:jc-info@jpf.go.jp

基本条件や
ホストファミリーの声は
裏面をご覧ください。

中国の高校生たちの“日本の家族”を募集しています!

1ヵ月以上の長期受入れのほか、休暇期間中や週末のショートステイも随時募集しています。お気軽にお問い合わせください!!

受入れについて

本事業で日本に留学する中国人高校生たちは日本語が話せますので、ホストファミリーの方々が中国語を話せなくても問題ありません。受入期間は11ヶ月間、そのうち1~3ヶ月であれば可能、というご家庭もお気軽にご相談ください。受入れの際に当方より願うことは、主に以下の2点です。

お部屋のご提供

※個室のご提供をお願いします。

お食事(1日3食)のご提供

※通学日にはお弁当のご用意をお願いしていますが、困難な場合は謝礼金より昼食代のご提供をお願いします。

その他、以下留学生に関する費用は国際交流基金が手配いたします。

- ・海外旅行保険への加入手配
- ・お小遣いの支給(5,000円/月)
- ・携帯電話の貸与(通話料は生徒負担)
- ・授業料、教材費、通学費等、学校生活に必要な経費の負担

なお、留学生を受け入れていただくホストファミリーの皆さまには、わずかながら謝礼金をお支払しております。

謝礼金:2,000円/日(約60,000円/月)

※お弁当のご用意が困難な場合の昼食代を含む。



心连心:中国高校生長期招へい事業とは

日本語を学ぶ中国の高校生を11ヶ月間日本に招へいし、日本の人々と交流を行う機会を提供する**日中両政府公認事業**です。高校生たちは、ホストファミリー宅や学校の寮に滞在しながら高校に通い、授業、部活、学校行事など日本の高校生と同様の生活を体験します。これらの体験を通じ、中国の高校生たちにより深い日本理解や同世代の日本人との友情関係の形成を促すと同時に、日本の人々にも中国の若者と直接交流する機会を提供することで、日中両国の人々が個人レベルでの信頼関係を築くことを目的としています。

※一部手続きの補助をお願いする場合があります。(在留カードの住所登録補助、銀行口座開設の補助、医療費、定期券の購入費の一時立て替え)

ホストファミリーの声

帰国際に「日本に来て、日本人の印象が変わった。とても良かった」との言葉を聞き、一人ひとりの交流の大切さを感じました。



初めは当然ながらコミュニケーションを取るのに困りましたが、徐々に内面まで話し合えるようになり嬉しく思いました。



日本を好きになり、日本をより理解してくれました。このような人材が一人でも多くいることが将来の両国関係に幸いすると思います。



最初はホストファミリーになることにあまり乗り気がしませんでした。一緒に暮らした4ヶ月で先入観を持たずに親しくなろう、仲良くなろうという意識を持って人と人が接すれば、国や環境を越えて親しくなれると実感しました。



とても向上心があり、自ら進んで新しいことに挑戦し、娘のほうが発達されたような感があります。



ご関心をお持ちの方は、お気軽に下記までご連絡ください。

独立行政法人国際交流基金 国際対話部 高校生招へい係
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーゼ
TEL:03-5369-6074 E-mail:jc-info@jpf.go.jp



心连心
Heart to Heart



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金